



## ファイナルレポート

国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー・診断機器専門見本市

2019年7月9日～11日

南アフリカ・ギャラガーコンベンションセンター

2019年7月16日

### 初開催の analytica Lab Africa 2019 成功裏に終了

#### Summary

- analytica ネットワーク初の  
アフリカ開催
- 国内外から多数の企業参加
- 同時開催は出展社と来場者に  
付加価値



#### Facts & Data

会 期	2019年7月9日(火)～11日(木) 午前9時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)
会 場	ヨハネスブルク / ギャラガーコンベンションセンター (Gallagher Convention Centre (GCC))
主 催	Messe Muenchen GmbH — メッセ・ミュンヘン MM South Africa — メッセ・ミュンヘン・南アフリカ
パ ー ト ー ナ ー	South African Pharmaceutical & Cosmetic Review Lab worldwide Cremer Media's Engineering News
規 模	17,000 m <sup>2</sup> (IFAT Africa, fdt Africa 含む)
出 展 企 業	15カ国から148社
来 場 者 総 数	3,232人
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主 な 出 展 品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地支社・代理店 出展含む)	アズビル(株)、(株)島津製作所、昭和電工(株)、(株)久保田製作所 他(50音順) 他
専 用 U R L	<a href="http://www.analytica-africa.com">www.analytica-africa.com</a> (英語)

第1回 analytica Lab Africa が、2019年7月9日から11日まで、ヨハネスブルクのギャラガーコンベンションセンターで開催された。15カ国からの出展148社が、ラボテクノロジー、分析、バイオテクノロジー、診断技術に関するアフリカ市場向けの個別ソリューションを紹介した。来場者数は、3,232人を数えた。

メッセ・ミュンヘン Deputy CEO の Dr. Reinhard Pfeiffer は「この3日間を通じて、見本市に集結したテクノロジーとノウハウは、市場における需要が高いことが分かった。それは、出展社と来場者の予想を超えるものであった。出展社は、特に、自社ブースを訪れる来場者の、市場のエンドユーザーから見た質の高さに注目した」と、総括的に述べた。

2017年にメッセ・ミュンヘンが当時の Lab Africa を買収した後、analytica Lab Africa は、ミュンヘンの世界を代表する見本市に加えて、中国、インド、ベトナムで開催されるその地域の主要見本市で構成される analytica インターナショナル・ネットワークに統合された。analytica の Exhibition Group Director である Claudia Sixl は、メッセ・ミュンヘンの傘下に入って今回初開催となるこの見本市で、「analytica Lab Africa にまとめた製品やソリューションは、南アフリカの市場成長に必要不可欠だ。そのため、この見本市は、今や無くてはならない市場基盤となっている」と語った。

南アフリカ Sartorius 社の General Manager である Nikolai von Knauer 氏は、この見本市が analytica ネットワークに入ることがいかに有益であるかについて、強い関心を示し、「analytica Lab Africa はヨーロッパの最高水準にある。予想以上に多くの顧客を迎えることができ、来場者の質も非常に良いものであった」と、熱く語った。



Wirsam Scientific and Precision Equipment, Pty. (Ltd.) Director である Vicky Wagner 氏は、来場者はとても熱心で、ポテンシャルの高いビジネスチャンスをつかめた、と語った。

島津製作所 MS Product Specialist の Charl Yeates (Ph.D.) 氏は、コロケーションは有益であり、新たなビジネスリードの20%は見本市のコロケーションからもたらされたものだ、と述べ、さらに、島津製作所は、同時開催の他見本市に出展している国際企業からも特別な関心を持たれたことを付け加えた。

### Lab Safety Show の併催プログラム

サポートプログラムには、食品の安全性、ラボラトリーでの応用などのテーマに関する実用的なプレゼンテーションも行われるフォーラムやデモエリアが用意された。

ラボラトリーにおける安全性とリスクに関する実演が、今回のハイライトの一つであった。

asecos 社の Sascha Kunkel 氏は、ラボセーフティー・ワークショップで発表を行い、「ラボの安全性は意識から始まる。起こりうる危険に気づけさえすれば、リスクを軽減する適切な対策を講じることができる」と語った。さらに、ワークショップは対話形式で行われたことや業界からの参加者が多かったことを付け加えた。

### analytica Lab Africa には国際的ハイレベル企業が出揃う

15カ国から148社が出展し、その中には Merck、Metrohm、島津製作所、Sartorius、Thermo Fischer などのマーケットリーダー企業も含まれていた。さらに、約90社の国際企業、例えば、業界最大手の Honeywell、Mettler Toledo、Olympus といった有名企業が、現地のディストリビューターを通じて見本市に代表を送った。特に喜ばしいことは、国外からの出展社数の多さであり、遠くはインドからの参加もあっ

た。ドイツ、中国、スペインのジョイントブースや国際的ジョイントブースが機能し、完全に国際的な見本市となった。

#### 部門を超えて新たなシナジーを生む同時開催

analytica Lab Africa と共に、メッセ・ミュンヘン主催の Food & drink technology Africa (略して fdt Africa) と IFAT Africa との二つの見本市が同時に開催された。この三つの見本市のコロケーションは出展社と来場者にとって大いに有益であった。

メッセ・ミュンヘン南アフリカ CEO の Suzette Scheepers は、「各業界をリードする見本市がプラットフォームを共有することにより、環境産業、飲料・食品業界、さらには、ラボ・分析技術のトレンドやイノベーションに関する、広範囲かつ包括的な情報を入手することが可能になった」と説明した。

三つの見本市は、ギャラガーコンベンションセンター内の 4 ホールで 17,000 m<sup>2</sup>を使用して開催された。総計 379 社が、8,324 人の来場者に自社のソリューションと製品を紹介した。analytica Lab Africa への 148 社に加えて、food & drink technology Africa には 65 社、IFAT Africa には 166 社が出展した。

今回の成功によって、2021 年 7 月 13 日から 15 日まで、三つの見本市が再び同時開催される。

analytica Lab Africa の詳細はオンラインで <https://analytica-africa.com/> (英語)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)